



意見 交流会

奄美大島のニホンミツバチ —その保全と持続可能な利用のために—

日時：2017年2月9日(木) 18:00~20:00
場所：奄美市AiAiひろば2F (奄美市名瀬末広町14-10)



ミツバチは、野生植物・作物の授粉やハチミツの生産に役立つ昆虫です。奄美大島の森林の樹洞に生息するニホンミツバチは、本土のものと生態が異なることが明らかになりました。奄美大島のニホンミツバチを守るために、その魅力、現状、保全の意義について情報を交換する、意見交流会を開催いたします。私たちの野外調査の様子や研究成果をまとめたパンフレットもお配りいたします。奄美大島の自然や、ニホンミツバチに関心のある方、どうぞお気軽にお越しくださいませ。皆様のご参加をお待ちしております。

入場無料!



司会：中央大学
鷺谷いづみ教授

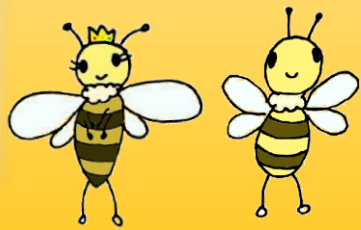
話：東京大学大学院
藤原愛弓(博士課程)

話：中央大学大学院
工藤遥香(修士課程)

協力：東京大学生産技術研究所
喜連川優教授
安川雅紀特任助教



お問い合わせ：
中央大学
保全生態学研究室
藤原・工藤
(☎03-3817-7297)



お気軽にどうぞ!

主催：中央大学・東京大学「自然保護地域における協働管理のための情報交流システムの開発：奄美大島をモデルとして」研究グループ
*本意見交流会は、環境省・環境研究総合推進費による「4-1409 自然保護地域における協働管理のための情報交流システムの開発：奄美大島をモデルとして」の一環として実施しています。